

自治体の課題、現状

- ・急激に進む生徒数の減少は、文化部に所属する生徒数の減少のみならず、学校の統廃合や教員数の減少等へとつながり、学校を活動単位とする従来の部活動の形態のままでは、生徒のニーズに応じた充実した部活動を継続させることが極めて困難な状況となっている。
- ・市内にはプロの演奏家や専門講師、教員以外の吹奏楽指導者がいないため、生徒が専門的な指導を受ける機会は少なく、地域移行に向けて指導者を確保することにも課題を抱えてきた。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	9校	全生徒数	1,449人
域内の部活動数	18部	実施した地域クラブ数	10クラブ
全体の指導者数	39人	全体の運営スタッフ数	7人
主な運営団体	地区吹奏楽連盟（地域移行支援部門）		
主な種目	吹奏楽		
平均的な活動回数	1回/月	年間平均参加生徒実数	3年：2人/クラブ 2年：5人/クラブ 1年：5人/クラブ
参加会費	1200円/年	主な活動場所	市内中学校

地域移行関連の取組、成果

- ・社会人吹奏楽団の協力を得て、専門講師の指導補助や講習会の運営に当たる「見守り指導者」の経験者が4年間で20人を超え、地域の指導者や部活動指導員の人材確保につながっている。また、専門講師の指導補助をすることが指導法の研修を兼ねることから、指導者としての資質向上にもつながっている。指導に自信がなくても、小規模校に出向き、生徒と一緒にパート練習をする「練習協力者」は、気軽に事業に関われることから、新たな協力者の発掘や若手の指導者育成にもつながっている。
- ・生徒が他校の生徒と合同で、または地域の指導者等と共に活動することによって、少人数では味わえない吹奏楽の楽しさを感じることができた。

運営体制図

